

## 頻発する水蒸気噴火

### Phreatic eruptions recently frequent in Japan

\*及川 輝樹<sup>1</sup>

\*Teruki Oikawa<sup>1</sup>

1. 国立研究開発法人産業技術総合研究所

1. GSJ, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

近年、日本列島において水蒸気噴火が頻発している。2014年9月の御嶽山、2018年1月の草津白根の噴火と、死傷者が出る噴火も続いている。そのためか、最近噴火が多いといった声も聞こえるが、それは本当だろうか？

この水蒸気噴火は、マグマを放出しない火山学的には小~中規模な噴火であるが、地球上でもっともありふれた噴火の一つであり、マグマ噴火と同じくらい複雑で多様性に満ちた活動を行う。

本講演では、地質学的研究を通じて明らかになった水蒸気噴火の特性や、どのような火山で発生しているかなどを紹介する。さらに、最近噴火は増えているか、水蒸気噴火では人的被害が発生しやすいのか、火山に登る時は何に注意すべきなのかの疑問にも答えたい。

キーワード：水蒸気噴火、地質学、火山学、減災

Keywords: phreatic eruption, geology, volcanology, disaster mitigation